

接種を受ける前に
必ずお読みください。

ポリオ単独不活化ワクチンの接種について

1. ポリオってどんな病気？

- ・ポリオは「ポリオウイルス」による急性のウイルス感染症で、「小児まひ」とも呼ばれています。ポリオウイルスは人から人へ感染し、感染した人の便中に排泄されたウイルスが、口から入りのどまたは腸の中で増えます。感染しても90～95%は全く無症状で、免疫だけを獲得します。感染者の5～10%は軽度の発熱・頭痛・嘔吐などの症状が現れます。腸で増えたウイルスが血液を介して脳や脊髄へ感染し、1,000～2,000人に一人は麻痺を起こすことがあり、その一部の人に麻痺が残ります。
- ・日本では昭和39年にポリオワクチンが導入され、昭和55年以降自然感染による患者発生はありません。しかし現在パキスタン・ナイジェリア・アフガニスタンなどではポリオの発生があり、これらの地域で感染したり、日本にポリオウイルスが入ってくる可能性があります。そのためワクチン接種を継続する必要があります。(2012年8月現在)



2. ポリオ単独不活化ワクチンについて

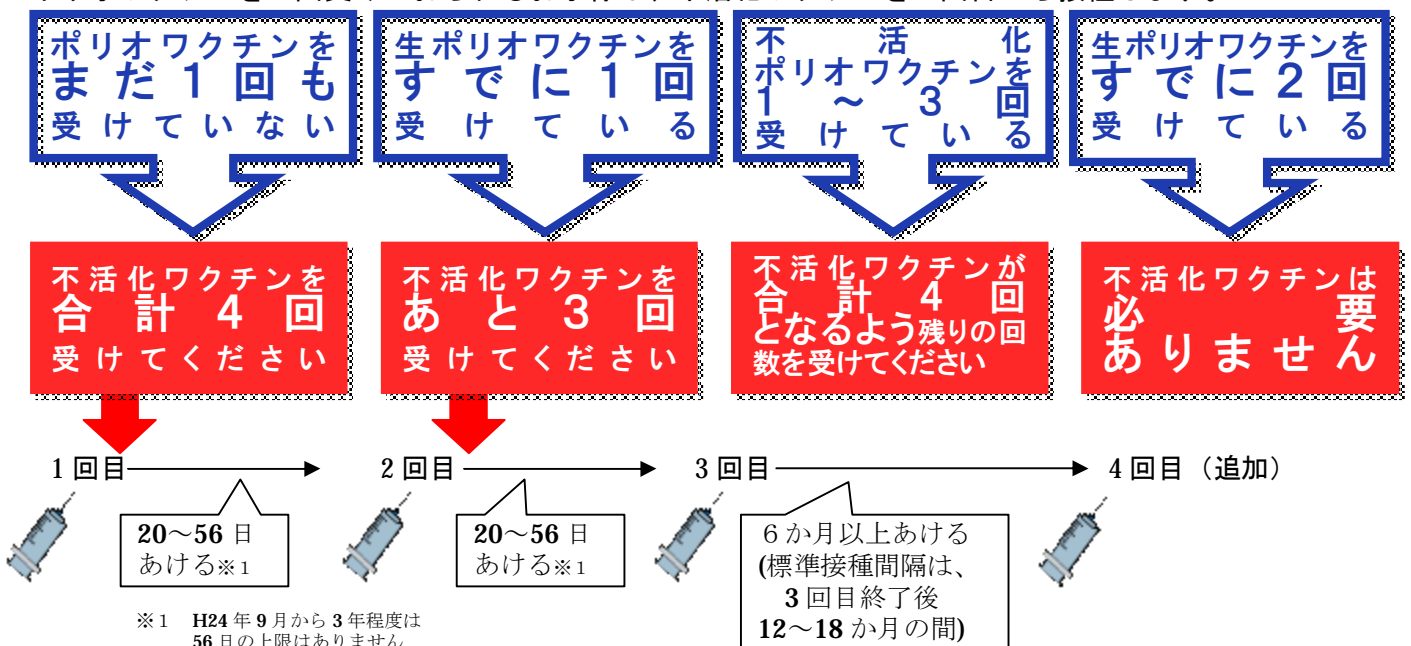
ポリオウイルスの毒性をなくし（不活化し）、免疫をつくるために必要な成分だけを取り出して作ったワクチンで、皮下に4回（初回3回・追加1回）注射します。

3. 副反応について

- ・主な副反応は、接種部位の赤みや腫れで、そのほか発熱が報告されています。多くの場合、注射部位の赤みや腫れは3～4日で消失し、発熱は1～2日で下がりますが、1週間は副反応の出現に注意しましょう。
- ・非常に稀ですが、アナフィラキシーショック、重いアレルギー症状、けいれんが起きることもありますので、この場合は速やかに医師にご相談ください。
- ・また、製造工程にウシ由来の成分が使用されています。しかし、海外で接種が開始されてから、このワクチンが原因で感染症（脳症）にかかったという報告は現在までありません。

4. ポリオ単独不活化ワクチンの接種回数と接種スケジュール

- ・対象年齢は、生後3～90か月未満です。1～3回目の標準的な接種年齢は、生後3～12か月です。
- ・今までに受けたワクチンの種類と回数によって接種回数が異なります。
- ・ポリオワクチンをまだ1回も受けておられないお子様は不活化ワクチンを1回目から接種します。ポリオワクチンを1回受けておられるお子様は、不活化ワクチンを2回目から接種します。



5. 予防接種の受け方

接種場所：市内のポリオ予防接種実施医療機関

※実施医療機関名簿はホームページに掲載しています。

※予約が必要な場合がありますので接種前に医療機関にお問い合わせください。



- 持ち物：**
- ①**母子健康手帳**…今までの接種記録の確認のため必ず持って行ってください。
 - ②同封の「**ポリオ単独不活化予防接種券**」…番号順に使用します。
 - ③同封の「**予診票**」…太枠内の必要事項を記入して医療機関へ持って行ってください。

注意点：①他の予防接種との接種間隔に注意してください

生ワクチン（BCG・はしか風疹・水ぼうそうなど）接種後は27日以上、不活化ワクチン（三種混合・ヒブ・肺炎球菌・日本脳炎など）接種後は6日以上あけて接種してください。

②市外に住民票を異動された場合、接種券は使えません。

③接種券がない場合は自費となり、約11,000円かかります。

6. 予防接種による健康被害救済制度

接種により健康被害がおきた場合、請求し認定されれば医療費等の給付を受けることができます。

7. 予診票の記入の仕方

ポリオ単独不活化予防接種予診票

母子手帳の予防接種記録のページを見て、生ワクチン投与日をご記入ください。海外及び自費で不活化ワクチンを受けられた方は接種日をご記入ください。

不活化ワクチンを接種している場合は必ずどちらかに○を記入してください。

体温は診察の前に測ります。

質問事項を読みご記入ください。

同封の接種券は切り取らずに医療機関に持って行ってください。

保護者の署名
当日連れてきた人が異なる場合はこちらに名前と続柄を記入。

＜お問い合わせ先＞
姫路市保健所予防課 予防接種担当 電話(079)289-1635